

新潟県魚類目録補訂(V)

本 間 義 治

(新潟大学佐渡臨海実験所)

Further additions to "A list of the fishes collected in the
Province of Echigo, including Sado Island." (V).

Yoshiharu HONMA

(Sado Marine Biological Station, Niigata University)

著者が、1952年に新潟県産魚類目録を編んでから、前報までに掲載した魚類は442種となつた。その後も、佐渡臨海実験所周辺の魚類相の調査に従事する一方、日本海区水産研究所に保存されてある佐渡北方沖のひょうたん瀬の深海底魚を観察することもできた。その結果、1956年末までに22種の未記録種が判明したので、引き続き増補しておきたい。これで、新潟県産魚類は464種となる。

貴重な標本を査定する機会を与えられた、日本海区水産研究所の大内明技官に謝意を表する。

Family Cyprinidae

1. *Sarcocheilichthys variegatus* (TEMMINCK et SCHLEGEL) ヒガイ T

産地：新潟市鳥屋野潟

1956年10月末に、新潟市立石山中学校の福田謙也教諭が採集したもの。近時、新潟市周辺にかなり繁殖している模様であるが、移殖の経緯については知るところが無い。

Family Exocoetidae

2. *Cypselurus starksi* ABE アリアケトビウオ S

産地：佐渡達者湾

1956年9月14日に、手網によつて稚魚3尾を採集した。体がむしろ太く短く、また下顎髯が無いことは、著しい特徴である。日本海側の従来分布記録は、富山湾までであるから、これにより、本地方が新しく北限地帯となつた。全長23.0, 25.0, 28.0 mm。本種は、阿部宗明博士の同定を得た。

Family Syngnathidae

3. *Corythoichthys fasciatus* GRAY イシヨウジ S

産地：佐渡両津湾

1956年に、新潟県立両津高等学校の所蔵標本中より発見したもの2尾。本種も、佐渡が分布上の北限の記録となろう。

4. *Urocampus rikuzenius* JORDAN et SNYDER オクヨウジ T

産地：佐渡達者湾及び両津湾

1956年7月12日に、プランクトンネットによつて、達者湾から稚魚1尾を得たが、両津湾産のものも2尾入手した。背鰭が肛門より遙か後方にあり、腹部正中面が黒色を帯びていることは、本科の他の種類との大きな相異点である。

Family Atherinidae

5. *Atherion elymus* JORDAN et STARKS ムギイワシ +S

産 地： 佐渡達者湾

1956年5月1日に、手網により稚魚2尾を採集した。胸鰭が体側の高位にあり、肛門が臀鰭基部の直前にあることは、著しい特徴である。本種の分布についても、当地が北限と思われる。全長 31.0, 32.0 mm。

Family Scombridae

6. *Neothunnus albacora* (LOWE) キハダ + S

産 地： 佐渡達者沖

1956年8月10日に、達者沖に設けられてある大謀網によつて、1尾が漁獲された。当地方では、極めて稀である。体重 4.90 kgr。

Family Apogonidae

7. *Gymnapogon japonicus* REGAN クダリボウズギス, アカツキハゼ + S

産 地： 佐渡達者湾

1956年1月30日に、大時化の後に海浜へ打ち上げられたもの1尾を拾得した。D. VI + I, 10; A. II, 9; V. I, 5; P. 14。皮膚に全く鱗が無く、顎には鋭い犬歯がある。従来日本海側からは、未報告と思われる。体長 46.0 mm。

Family Opisthognathidae

8. *Merogymnus ijonis* (JORDAN et THOMPSON) ニラミアマダイ + S

産 地： 佐渡達者湾

1956年3月9日に、大時化の後に海浜へ打ち上げられたもの1尾を拾得した。D. X, 13; A. II, 13; V. I, 5; P. 19; Scales 17。側線が背鰭基縁の近くに存在すること、背鰭棘部に楕円形の一大黒斑があること、眼が大きくて頭側上位にあることなどは、著しい特徴である。本種は稀のものと思われ、日本海側からは初めて記録されることになろう。体長 44.0 mm。

Family Acanthuridae

9. *Prionurus microlepidotus* LACÉPÈDE ニザダイ S

産 地： 佐渡達者湾

1956年4月2日に、手網により1尾を採集した。D. K, 23; A. III, 22; V. I, 5; P. 18。当地方では稀。分布上の北限の記録となろう。体長 383.0 mm。

Family Molidae

10. *Masturus lanceolatus* (LIÉNARD) ヤリマンボウ S

産 地： 佐渡達者湾

1956年12月15日に、達者海岸に打ち上げられた生魚1尾を観察した。背鰭基底長が臀鰭基底長より長く、下顎はわずかに上顎より突出している。全長約 1.8 m (両津湾の冬季定置網でも、時々漁獲されるという)。

Family Stichaeidae

11. *Stichaeus nozarwai* JORDAN et SNYDER タウエガジ N

産 地： 佐渡沖ひょうたん瀬及び粟島沖

1955年7月に、ひょうたん瀬より得られた日本海区水産研究所所蔵のもの1尾、及び1956年11月21日に粟島沖 216 m の深所より得られた佐渡臨海実験所所蔵のもの1尾を観察した。D. L~XL III; A. I, 36~I, 30; V. I, 3~I, 3; P. 15~14。頭部に鱗が無く、側線は2列の孔よりなる。体長 177.0, 100.0 mm。

Family Cryptacanthidae

- 12.
- Cryptacanthoides bergi*
- LINDBERG ハダカオオカミウオ N

産地： 粟島沖

1956年11月21日に、213mの深所より底曳網によつて漁獲されたもの1尾を観察した。D. LXX; A. II, 44; V. nothing; P. 14; C. 19; Scales, nothing; Gill rakers on 1st branchial arch, 2+9=11。本種については、最近松原('55)の詳報が出たので、主要特徴も省略する。今回の記録により、本種の分布が北日本から日本海全般に広範囲に亘っているらしい事が推定されよう。

Family Lycodidae

- ? 13.
- Lycodes macrolepis*
- TARANETZ et ANDRIASHEV ヨコシマガジ N

産地： 佐渡沖ひょうたん瀬

1955年7月に該所より獲られたもので、佐渡臨海実験所に1尾、日本海区水産研究所に2尾保存されてある。D. 93, 98, 10; A. 80, 81, 83; P. 20。これ等の標本は、原記載に比してDとAが各々10数条多い。しかし、腹部に鱗があり、胸鰭下部の数軟条がわずかに葉状になっていること、体側に背鰭にまで達している垂直黒斑があること、背鰭の始部近くに濃黒色斑があり、頭部も黒味を帯びていることなど、多くの点で一致している。原記載は、全長152~161mmのものによつてゐるが、著者の観察した標本には、351.0mmのものがあつた。オホーツク海や、日本海に広く分布しているものと考えられる。(なお、すでに松原('55)が述べている如く、オホーツク海産のもの、日本海産のそれとは、それぞれ別種として取り扱うべきかも知れないが、この点については、今後の精査に俟ちたい。)

Family Scorpaenidae

- 14.
- Apistus carinatus*
- (BLOCH et SCHNEIDER) ハチ + S

産地： 粟島と越後海府の間

1955年11月29日に、23mの浅所より、底曳網によつて漁獲されたもの1尾を観察した。D. XV, 10; A. III, 7; V. I, 5; P. 11 (The lowest one is separated)。これにより、本地方が北限地帯となつた。体長72.0mm。

Family Cottidae

- 15.
- Ricuzenius toyamensis*
- MATSUBARA et IWAI トミカジカ + N

産地： 佐渡沖ひょうたん瀬

1955年7月に、該所で得られたもので、佐渡臨海実験所にも2尾保存してある。D. IX+20~21; A. 18; V. I, 3; P. 19; Pored scales 40~43。R. *pinetorum* JORDAN et STARKS マツカジカとは、無鱗部の多い点で区別できる。小型種で、中部日本海に広く分布しているものと考えられる。体長77.0, 98.0mm。

- 16.
- Icelus uncinialis stenosomus*
- ANDRIASHEV ヤセコオリカジカ N

産地： 佐渡沖ひょうたん瀬

1955年7月に獲られたもので、日本海区水産研究所所蔵のもの1尾。D. IX+19; A. 15; V. I, 3; P. 18; Pored scales 43。本州西海岸から、比較的良く漁獲される *I. spiniger cataphractus* (PAVLENKO) ヨロイコオリカジカとは、体側の骨盤が鋸歯縁をもつている点で区別できる。体長105.0mm。

- 17.
- Artediellus auriculatus*
- (SOLDATOV) カワリオキカジカ N

産地： 佐渡沖ひょうたん瀬

1955年7月に獲られたもので、日本海区水産研究所所蔵のもの1尾。D. IX+16; A. 14; V. I, 3; P. 16。本属の他の種類とは、前鰓蓋骨最上棘の形態が叉角状で、上方と後方に突起をもっている点で区別できる。日本海の沖合深所に、広く分布しているものであろう。体長 128.0 mm。

18. *Artediellus dydymovi dydymovi* SOLDATOV コブオキカジカ N

産地：佐渡沖ひょうたん瀬

1955年7月に獲られたもので、佐渡臨海実験所に2尾保存してある。D. VI+10~12; A. 9~10; V. I, 3; P. 19; Lateral pores, 32。前鰓蓋骨棘は4本で、頸部に1対の低い隆起がある。

19. *Psychrolutes paradoxus* GÜNTHER ウラナイカジカ N

産地：佐渡沖

1956年12月に深所より採集されたもの1尾。D. IX, 15; A. 12; V. I, 3; P. 20; Pores on lateral line, 10; Scales, nothing。側線は、真直ぐであるが不明瞭。顎に歯があるが、鋤骨と口蓋骨には無い。北太平洋地区に広く分布しているものであろう。

Family Gobiidae

20. *Astrabe lacticella* JORDAN et SNYDER シロクラハゼ + S

産地：佐渡達者湾

1956年5月23日に、岩礁帯より1尾採集した。D. III+11; A. 10; P. 25。日本海側では富山湾からも知られている。体長 37.0 mm。

Family Liparidae

21. *Liparis punctulatus franzi* ABE スジクサウオ T

Liparis punctulatus rutilus ABE アカビクニン T

産地：佐渡達者湾

スジクサウオは、1954年8月に1尾、1955年6月15日に3尾、1955年8月3日に1尾を採集し、アカビクニンは、1955年11月25日に1尾を採集した。本種は、すでに拙著 (HONMA, Y., 1956: Jour. Fac. Sci., Niigata Univ., Ser. II, ii (3), p. 85) に、種名未決定のまま報告しておいたものである。日本海からは、始めて記録されることになろう。全長 9.2~27.0mm の稚魚。

Family Gadidae

22. *Eleginus gracilis* (TILESIIUS) コマイ N

産地：佐渡両津湾

両津高等学校所蔵の標本中より発見したもの1尾。稀ではない。

Résumé

The writer has further more enumerated twenty-two unrecorded species of fish with their brief descriptions, which are to be newly added into a list of fish of Niigata Prefecture, Sea of Japan.

Among these fish, there are one fresh water fish, twelve temperate or subtropical fish, and nine boreal bottom fish.